



### 茨城の土木遺産

#### 大手橋 (水戸市)

昭和10年 (1935年) 竣工

弘道館前に架かる。初代の橋は、佐竹氏による水戸城拡張に伴い政庁のあった二の丸と三の丸とを堀を渡って連絡する橋として 1601 年に大手門とともに建設された。現在の橋は昭和 10 年、当時の最新技術である鉄筋コンクリート造の橋として架け替えられた。橋長 22.7m、幅員 6.12m。水戸城大手門と一体となって権威を誇ってきた歴史がある。平成 22 年度に土木学会選奨土木遺産に認定された。

#### 主な内容

- ▼ 令和 4 年賀詞交歓会を開催
- ▼ 12 支部長が年頭の抱負
- ▼ 関東地方整備局と意見交換会
- ▼ 建女ひばり会が建設の絵本贈呈

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

**本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します**

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

# 働き方改革進め、大いなる飛躍を

## 令和4年 賀詞交歓会で決意

本会は1月14日、茨城県建設技術管理センター、茨城県建設業協同組合との共催による令和4年の新春賀詞交歓会を、新型コロナウイルス感染症対策を施しつつ水戸市の水戸京成ホテルで開催しました。本会の石津健光会長は「次代を担う人材の確保・育成に不可欠な働き方改革等に取り組み、新しい3K（給料が良く、休暇が取れ、希望が持てる業界）に衣替えする努力を重ね、地域の守り手という社会的使命を継続して果たしてまいりたい」とあいさつ。参加者は本年が飛躍の年となるよう誓い合いました。



石津会長

賀詞交歓会は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立を図るため、参加者の削減やワクチン接種証明の活用などを行って開催。来賓には大井川和彦県知事や本県選出国會議員、県議會議員など多数を迎えました。

あいさつで石津会長は「新型コロナ対応という厳しい時代を乗り越え、希望にあふれた明るい年となることを期待している」と述べました。

また昨年に協会が取り組んだ鳥インフルエンザや豚熱の防疫作業について「建設業が『地域の安全・安心の守り手』として、災害対応に加え、防疫作業でも大きな役割を果たしていることを広く認識していただいた」と振り返りました。

さらに働き方改革やICT活用による生産性向上、建設業のイメージアップなど若者や女性が活躍できる建設産業づくり、建設分野におけるD



本年の飛躍を誓い合いました

X（デジタルトランスフォーメーション）を積極的に進めていくと表明。

そして「次代を担う人材の確保・育成に不可欠な働き方改革等に取り組み、新しい3Kに衣替えする努力を重ね、地域の守り手という社会的使命を継続して果たしてまいりたい。ご支援とご協力をお願い申し上げます」と呼び掛けました。

来賓からは、大井川知事などが祝辞を披露。それぞれ本会の発展、県勢の発展に期待が寄せられました。

その後、高橋靖水戸市長の発声により出席者全員が乾杯。それぞれ、本年の大いなる飛躍を誓い合いました。

# 来賓祝辞 本会の発展に期待の声



**大井川 和彦 茨城県知事**

災害対応など県民の安心・安全を守る地域建設業の活動にあらためて感謝を申し上げます。地元を支える大事な要としての役割を引き続きお願いしたい。建設業界の人材の確保・育成や新技術の活用を支援していく。



**梶山 弘志 衆議院議員**

(自由民主党茨城県支部連合会会長、自民党幹事長代行)  
地域建設業が、防災・減災対策やインフラ整備の担い手としてご尽力いただいていることに敬意と感謝を申し上げます。国では補正予算で国土強靱化の事業を計上させていただいた。建設業界のさらなる発展を祈念する。



**伊沢 勝徳 茨城県議会議長**

地域の建設業は、県勢の発展にご貢献いただき、災害対応や鳥インフルエンザ防疫活動にも力を尽くしていただいていることに感謝を申し上げます。これからも命を守る活動にご尽力をいただきたい。



**佐藤 信秋 参議院議員**

建設業における成長と分配を推し進めるため、最低制限価格を引き上げ、設計労務単価も引き上げていく。仕事をしたら、しっかりと利益が出るようにしていきたい。皆さまのご協力をお願い申し上げます。



**足立 敏之 参議院議員**

国でも防災・減災、国土強靱化対策を進めている。国政でしっかり頑張っていきたい。働き方改革やDX対応などの課題もある。「建設産業の再生なくして日本の再生なし」との思いで取り組んでいく。



**海野 透 自由民主党県支部連合会会長代行**

皆さまが国土強靱化、防災・減災対策にご尽力いただいていることに、あらためて敬意と感謝を申し上げます。それぞれの地域で県民の期待に十分に答えていただきたい。建設業の益々のご発展・ご多幸を祈念したい。



茨城県選出の国会議員も祝辞



県議会議員も祝辞

# 地域の安全を守る活動を

12支部長が  
今年の抱負

水戸支部

下田 德行 支部長



建設業は週休2日制などの働き方改革、ICT施工などの生産性の向上が求められている。魅力ある建設業となるよう努めていきたい。さらに「地域の守り手」という地域建設業の社会的使命も果たしていく。

潮来支部

松崎 里志 支部長



地域建設業は、働き方改革や生産性向上など多くの課題に直面しているが、業界を発展させるため問題を解決していく。支部員が一致団結し、大きな力を発揮していきたい。

太田支部

瀬谷 實 支部長



支部活動へのご協力に感謝申し上げます。建設業は担い手確保など課題が多いが、週休2日など若者が活躍できる環境を作っていく。皆さんのご協力をいただき頑張っていきたい。

竜ヶ崎支部

細谷 武史 支部長



若年入職者の確保へ、新しい3K（給料が良く、休暇が取れ、希望が持てる）となる業界に変えていかなければならない。干支である虎にちなみ、勢いとパワーのある年にしていきたい。

常陸大宮支部

高野 潔 支部長



昨年は鳥インフルエンザが発生し、直ちに出勤していただいた。本年はICT施工や働き方改革などに関する講習会・勉強会を開催し、皆さんと課題を克服していきたい。

土浦支部

小林 伸行 支部長



地域の守り手である建設業が広く世の中に理解されるよう、アピールすることが重要。社会生活や経済活動を支える地域の建設業者として、信頼と尊敬が得られるよう責務を果たしていく。

大子支部

大藤 博文 支部長



業界の種々課題解決の一環として4週8休制やICT施工等新しい技術への積極的チャレンジを願っている。今年も「町医者」として住民の安全・安心な生活を守る役目を果たしていきたい。

筑西支部

小薬 拓巳 支部長



3次元データの転用や一斉休工日などが進んでいる。我々は「地域の守り手」などの役割があり、災害時のパトロールや対応を担っている。皆さまのご協力をお願いしたい。

高萩支部

秋山 光伯 支部長



日ごろの活動へのご協力に感謝申し上げます。若者が建設業で活躍できる環境を作りたい。週休2日も積極的に取り込み、選ばれる職業を目指していく。ご協力をお願いしたい。

常総支部

中川 原 勇 支部長



自然災害では地域の守り手として素早く出動できるよう心掛けていく。働き方改革の一斉休工日もある。電子契約やICT施工、建設業のイメージアップなども行っていきたい。

鉾田支部

羽生 義隆 支部長



共存、共栄の精神のもと、皆さまと知恵を絞っていきたい。働き方改革による長時間労働の是正、4週8休の導入など、魅力ある建設業として認識してもらえよう努力していく。

境支部

新井 孝 支部長



建設業者は、地域社会の安全を守り、貢献していくことが使命である。道路美化などの活動を進めていく。また週休2日などの働き方改革、ICT施工など生産性向上にも取り組んでいきたい。

## 設計精度向上などを要望

### 関東整備局と意見交換

本会など1都8県の建設業協会は1月18日、国土交通省関東地方整備局との意見交換会をWEB方式で開催。本会の石津健光会長は、施工体制の強化を図るため直轄工事の詳細設計の精度向上、地域の状況を熟知している地元コンサルタント業者の活用などを要望しました。

石津会長は、国土強靱化事業の円滑な実施へ会員企業の直轄事業への参入を呼び掛けているが、設計に関する課題が会員企業から挙がっていることに触れ、設計精度の向上などを訴えました。

そのほか施工体制の確保関連では「地域の実情を知っているコンサルを使っていたきたい」「工事発注の全体スケジュールを早めに提示してほしい」「河川工事で実質的な工期が短すぎる」などの意見がありました。

## 総合評価で「賃上げ加点」

### 関東整備局が説明会

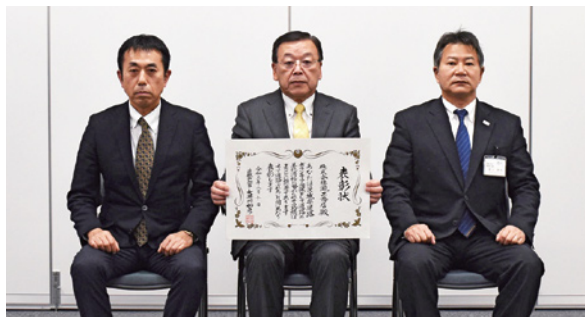


国土交通省関東地方整備局による直轄工事の総合評価落札方式における賃上げを実施する企業に対する加点措置の説明会が2月2日と4日に開かれ、本会の会員企業の担当者もサテライト方式（会場は水戸市の茨城県建設技術研修センター）でWEBにより参加しました。

説明会の内容は、関東整備局のホームページにも掲載しています。

## 瀧工務店(常陸大宮支部)が受賞

### 道路美化で県知事表彰



瀧代表取締役（中央）を囲み記念撮影

(株)瀧工務店（瀧文雄代表取締役、常陸大宮支部）は、道路美化ボランティア団体に対する茨城県知事表彰を受賞。昨年12月23日に表彰状授与式が行われました。

瀧工務店では平成30年3月、県常陸大宮土木事務所や常陸大宮市と協定を結び道路美化ボランティア活動を開始。国道293号（常陸大宮市富岡）の約1.15kmで清掃や除草に年4回取り組んでおり、長年の地域貢献活動が称えられました。

瀧文雄代表取締役は「私どもは市民の方々が安心して安全、快適な道路を使用していただきたく活動を実施している。今後も皆さまのご指導ご鞭撻をいただきながら、ボランティア活動にまい進していきたい」と述べました。

## 令和3年度 茨城県技術者表彰受賞者 (1月表彰分)※受賞者(企業名)、敬称略

### 【鹿島下水道事務所】

- ◆山本勇（株）鹿島企業
- ◆保田よしみ（株）宏洋

### 【高萩土地改良事務所】

- ◆小堀健一（常北開発株）
- ◆山本頼裕（東海建設株）
- ◆迫雄幸（サコー建設株）

## 担い手確保へ協力

### 県建築関連団体交流会から要望

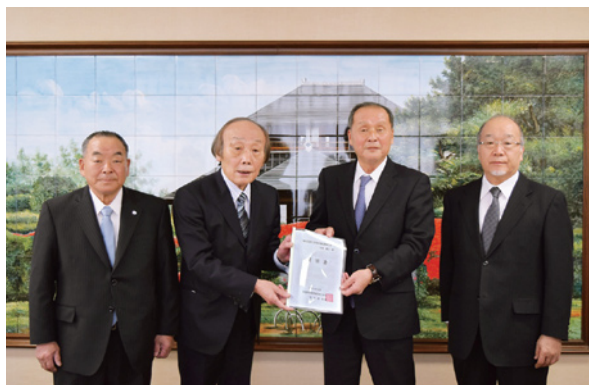
本会は1月25日、県内25の専門工事業団体で構成される茨城県建築関連団体交流会（会長・柴和伸県建築士会会長）から若年入職者の確保に向けた要望を受けました。内容は①工期・単価設定・職場環境の対策②技能士（施工技士）の活用と建設技能者の能力評価制度の推進③地場産材の使用と伝統的工法に配慮した発注・施工。

本会の石津健光会長は、要望内容に前向きに取り組む姿勢を示しました。

今後、課題解決に向けて意見交換を重ねていく方針です。

要望がありました3項目は次のとおりです。

- ◆地元の若者が入職できるような新3Kの職場実現のため、工期、単価設定、職場環境対策をお願いしたい。



石津会長（右から2人目）が要望書を受け取りました

- ◆工事を遂行するために必要な、一定の能力を備えた技術者である技能士（施工技士）の活用と建設技能者の能力評価制度の推進をお願いしたい。
- ◆地場産材の使用と伝統的工法に配慮した発注・施工をお願いしたい。

## 国補公共事業に288億追加

### 茨城県の1月補正予算

茨城県は1月補正予算に、防災・減災、国土強靱化の推進等への対応費に290億5,100万円を計上しました。そのうち国補公共事業費は288億700万円です。

補正予算の主な事業は次のとおりです。

#### 【国補公共事業】

- ◆直轄事業負担金（東関東自動車道水戸線等、那珂川等の治水事業）＝78億8,300万円
- ◆補助事業（国道118号袋田バイパス、北浦大橋、澗沼川、茨城港、ほ場整備三坂地区など）＝209億2,400万円

#### 【新型コロナウイルス感染症防止対策】

- ◆特別支援学校体育館（22校）の空調設備整備費＝4億9,600万円
- ◆県立学校118校トイレ洋式化（特別教室棟）＝20億5,800万円

## 国の建設工事は6.8億に

### WTO基準額

財務省と総務省は令和4年度と5年度におけるWTO政府調達協定の適用基準額を見直す告示を行いました。建設工事は、国発注分が現行の6億9,000万円が6億8,000万円に、地方自治体発注分は現行が23億円を22億8,000万円に引き下げられます。

国土交通省の直轄工事では、現状で一般土木工事と建築工事のB等級は対象が予定価格3億円以上7億2,000万円未満となっているため、引き続きB等級工事の一部はWTO対象案件になります。

WTOの基準額は、IMF（国際通貨基金）が創設した為替変動に対応するSDR（特別引出権）という単位で定められており、2年ごとに見直されています。

# 支部等活動報告

## 太田支部



### 安全管理講習会を開催

太田支部（瀬谷実支部長）は1月20日、茨城県常陸太田工事事務所（木村政美所長）と建設現場の安全管理講習会を県常陸太田合同庁舎で開催。現場担当技術者など約40人が参加し、建設現場の災害事例や防止対策を学びました。瀬谷支部長は「安全第一、無事故で」と呼び掛けました。

## 筑西支部



### ICT施工など学ぶ

筑西支部（小薬拓巳支部長）は昨年12月23日、茨城県筑西土木事務所（深作正志所長）などと共に技術者講習会を筑西市のスピカビルで開催。主任・管理技術者などがICT施工やASPを活用した遠隔臨場などを学びました。小薬支部長は「皆さまのスキル向上となれば」とあいさつしました。

## 高萩支部



### 電子契約などで講習会

高萩支部（秋山光伯支部長）は昨年12月15日、茨城県高萩工事事務所と共に電子契約や施工体制の講習会を支部会館で開催。制度について理解を深めました。秋山支部長は「建設業も電子化やICT化に積極的に取り組む必要がある。理解を深めてほしい」とあいさつしました。

## 常総支部



### 安全対策や検査を研修

常総支部（中川原勇支部長）は昨年12月17日、現場代理人・主任技術者研修会を開催。参加した約40人が労働災害防止対策、中間・完成検査のポイントなどを学びました。中川原支部長は「集中して受講し、実りのある講習会となれば」とあいさつしました。

## 土浦支部



### 週休2日などで県と意見交換

土浦支部（小林伸行支部長）は昨年12月15日、茨城県土浦土木事務所（大石直人所長）、県流域下水道事務所（長山公信所長）との意見交換会を土浦土木で開催。週休2日の促進や情報共有化システムなどを協議しました。小林支部長は「事故を出さないよう注意したい」とあいさつしました。

## 建設未来協・県西地区



### 県と現場研修・意見交換

本会の建設未来協議会（鈴木達二会長）の県西地区は昨年12月22日、茨城県筑西土木事務所（深作正志所長）と現場実務研修・意見交換会を筑西市の明野公民館で開催。情報共有システム（ASP）を活用した遠隔臨場を学びました。意見交換、アスファルト舗装技術研修も行いました。

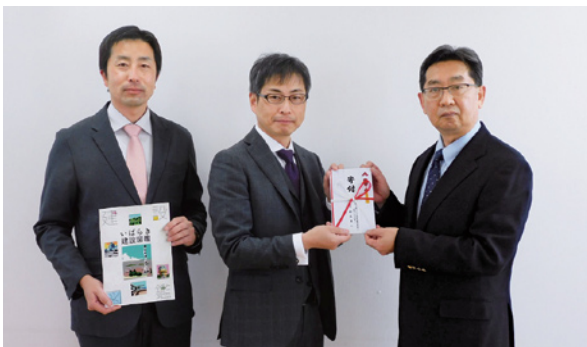
## CCI茨城 建設体験学習に感謝状



助川中で実施した体験学習に参加した生徒たち

本会も参加している茨城県魅力ある建設事業推進連絡会議（CCI茨城）が、日立市立助川中学校の2年生を対象に行った建設体験学習に対し、日立市長と日立市教育長より感謝状が贈られました。体験学習は助川中学校で10月21日、11月10日、12月1日に実施。基礎鉄筋加工組み立てや校倉工法木造倉庫の建設などを指導しました。

## 建設未来協議会 チャリティー金を寄付



鈴木会長（中央）と長山朋之総務委員長（左端）が代表して贈呈しました

本会の建設未来協議会（鈴木達二会長）は1月17日、令和3年に実施した会員親睦行事のチャリティー収益金6万円を日立市内の児童養護施設「日照養徳園」（大谷恭久施設長）へ寄付しました。また同会が中心となって制作した「いばらき建設図鑑」を子供たちへ贈呈しました。

## 建女ひばり会 「土木」の絵本を石岡市へ寄贈



絵本を贈呈しました

本会の女性部会「建女ひばり会」は1月18日、土木技術者女性の会と共に、土木を紹介しながら魅力を伝える絵本を石岡市に贈呈しました。

絵本は「ドボジョママに聞く土木の世界」（福手勤監修、星の環会）。シリーズ第1期の「橋のたんけん」を19小学校に、全10冊を市立中央図書館・こども図書館本の森に贈りました。

贈呈式で石岡市の谷島洋司市長は「土木を身近に感じてもらい、ものづくりの楽しさ、生活する上で土木が大切なのかを学んでほしい」と期待。

土木技術者女性の会の沼田直子氏は「昨年、市のご協力で橋梁のセルフメンテナンスに関するイベントを開催しました。お礼を兼ね絵本を寄贈します」と述べました。建女ひばり会の高野和子副会長は「インフラ維持には土木技術者が不可欠。土木は男性だけの仕事でないことを知るきっかけに」とあいさつしました。

## 会員の動向

### 〈住所変更〉

▽水戸支部

足立建設(株) 水戸市東野町167-5→

水戸市東野町167-2